

東京
春祭

20th
Spring Festival in Tokyo

誕生
2000年
に
寄せて

東京春祭 合唱の芸術シリーズ vol.11

ブルックナー《ミサ曲第3番》
Tokyo-HARUSAI Choral Works Series vol.11
BRUCKNER
Mass
No.3
Celebrating
the 200th
Anniversary
of
His Birth

ワーグナー：ジークフリート牧歌
ブルックナー：ミサ曲 第3番 ヘ短調 WAB28

指揮：ローター・ケーニヒス
ソプラノ：ハンナ＝エリーザベト・ミュラー
メゾ・ソプラノ：オッカ・フォン・デア・ダメラウ
テノール：ヴィンセント・ヴォルフシュタイナー
バス：アイン・アンガー
管弦楽：東京都交響楽団
合唱：東京オペラシンガーズ
合唱指揮：エベルハルト・フリードリヒ、西口彰浩

Wagner: Siegfried Idyll
Bruckner: Mass No.3 in F minor WAB28
Conductor: Lothar Koenigs
Soprano: Hanna-Elisabeth Müller
Mezzo-soprano: Okka von der Damerau
Tenor: Vincent Wolfsteiner
Bass: Ain Anger
Orchestra: Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra
Chorus: Tokyo Opera Singers
Chorus Master: Eberhard Friedrich, Akihiro Nishiguchi

4.13^{14:00}
[土]

東京文化会館
大ホール

April 13 [Sat.] 14:00

Tokyo Bunka Kaikan, Main Hall

SY¥17,000 AY¥14,500 BY¥12,500 CY¥10,500
DY¥8,500 EY¥6,500 U-25¥3,000 (税込)

※U-25は2月15日[木]12:00発売[公式サイト限定取扱]
※ライブ・ストリーミング配信のネット席(有料)に関する情報は2月頃発表予定。

オーストリア文化フォーラム

主催：東京・春・音楽祭実行委員会
後援：オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム東京
助成：公益社団法人企業メセナ協議会 社会創造アーツファンド

BRUCKNER Mass No.3

Celebrating
the 200th
Anniversary
of
His Birth

ブルックナー 《ミサ曲第3番》 生誕200年に寄せて

11回目となる東京春祭 合唱の芸術シリーズ公演は、ブルックナーによる宗教曲の中でも「最高傑作」と謳われる、荘厳な作品ミサ曲《第3番》をお届けします。世界の歌劇場やオーケストラから招かれ、高い評価を得ているローター・ケーニヒスの指揮のもと、「水晶から切り出したような声」（ザルツブルガー・ナッハリヒテン紙）と称えられるハンナ＝エリーザベト・ミュラー、広範なレパートリーを持ち同世代を代表するメゾ・ソプラノの一人として絶賛されるオッカ・フォン・デア・ダメラウ、これまでも東京・春・音楽祭にたびたび出演し、聴衆を魅了してきたヴィンセント・ヴォルフシュタイナー、アイン・アンガーといった充実の歌手陣を揃え、東京オペラシンガーズ、東京都交響楽団の演奏でお贈りします。ブルックナー生誕200年の記念の年に聴き逃さない公演です。

ローター・ケーニヒス (指揮)

Lothar Koenigs (Conductor)



独アーヘン生まれ。ケルンでピアノと指揮を学ぶ。1999～2003年、独オスナブリュック歌劇場音楽監督。09～16年ウェールズ・ナショナル・オペラ音楽監督。ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座をはじめ、ロンドン、ミュンヘン、ドレスデン、ハンブルク、ブリュッセル、リヨン等の歌劇場に客演。オペラではワーグナー、R.シュトラウス、ヤナーチェクに力を入れている。これまでに、ベルリン放送響、ウィーン響、ドレスデン・フィル、ボン・ベートーヴェン管、ルクセンブルク・フィル、読売日響、プレーメン・ドイト室内管等を指揮。

東京都交響楽団 (管弦楽)

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra (Orchestra)

東京オリンピックの記念文化事業として1965年に東京都が設立。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリア・フィンバルが桂冠指揮者を務める。定期演奏会、都内小中学生のための音楽鑑賞教室、多摩・島しょ地域での出張演奏に加え、2018年からは誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる「サラダ音楽祭」を開催。21年7月、東京2020オリンピック競技大会開会式で(オリンピック讃歌)(大野和士指揮/録音)を演奏する等、「首都東京の音楽大使」として文化芸術の活性化に注力している。

東京オペラシンガーズ (合唱)

Tokyo Opera Singers (Chorus)

1992年の(さまよえるオランダ人)公演に際して「世界的水準のコーラスを」という小澤征爾の要請を受け、東京を中心に活躍する中堅・若手の声楽家により組織。東京・春・音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本(現セイジ・オザワ 松本フェスティバル)を中心に活動。ムーティからも高い評価を得ており、共演は計7回を数える。シカゴ響、ウィーン・フィル、バイエルン国立歌劇場等とも共演。2018年の上海国際芸術祭、20年の北京国際芸術祭(相約北京)等にも参加。

ハンナ＝エリーザベト・ミュラー (ソプラノ)

Hanna-Elisabeth Müller (Soprano)



CHRIS GONZ

独マンハイム生まれ。2014年のザルツブルク音楽祭、ティーレマンが指揮したR.シュトラウス(アラベラ)ズデンカで脚光を浴びる。バイエルン国立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ドレスデン・ゼンパーオーパー、チュールヒ歌劇場、ザルツブルク音楽祭等に出演。コンサートでは、ティーレマン指揮シュタツカペレ・ドレスデンとベートーヴェンの交響曲第9番を、ハーディング指揮パリ管とマラーの交響曲第2番を、パヴォ・ヤルヴィ指揮ベルリン・フィルとベルク(7つの初期の歌)等を歌っている。

ヴィンセント・ヴォルフシュタイナー (テノール)

Vincent Wolfsteiner (Tenor)



Ludwig Olah

ミュンヘン生まれ。ニューイングランド音楽院でウィリアム・コットンに学ぶ。近年は(サロメ)ヘロデでウィーン国立歌劇場に出演した他、ベルリン国立歌劇場、ボリショイ劇場等に登場。2022年の東京・春・音楽祭(ロー・エングリン)ではタイトルロールを歌った。コンサート歌手としても積極的に活動しており、モーツァルト(レクイエム)、ベートーヴェンの交響曲第9番、メンデルスゾーン(エリヤ)、シューマン(ゲーテのファウストからの情景)、シェーンバルク(グレの歌)、マラーの交響曲第8番や(大地の歌)等をレパートリーとしている。

オッカ・フォン・デア・ダメラウ (メゾ・ソプラノ)

Okka von der Damerau (Mezzo-soprano)



Simon Pauly

ハンブルク生まれ。ミュンヘンで国際的なキャリアをスタートし、パリ国立オペラ、ウィーン国立歌劇場、ナポリのサン・カルロ劇場、マドリッドのテアトロ・レアル、ドレスデンのゼンパーオーパー、バイロイト音楽祭等に定期的に出演。オペラに加え、マラーやシェーンバルクらの声楽曲も得意とし、シカゴ響、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、バイエルン放送響他と共演。ヴェネツィアで開催されたワーグナー声楽作品の国際声楽コンクールで特別審査員賞を、ミュンヘン・オペラ・フェスティバルでフェスティバル賞を受賞。

アイン・アンガー (バス)

Ain Anger (Bass)



Kaupo Kikkas


エストニアの首都タリンの音楽アカデミーで学ぶ。2004年ウィーン国立歌劇場にデビュー以来、同歌劇場で独語・伊語・露語等で40以上の役を歌う。09年ティーレマンが指揮する(ラインの黄金)(ジークフリート)ファーフナーでバイロイト音楽祭にデビュー。近年の主なコンサート出演としては、ジャンドレア・ノセダ指揮ウィーン交響楽団とベートーヴェンの交響曲第9番を歌い、ミラノ・スカラ座ではリッカルド・シャイーの指揮でマラーの交響曲第8番を歌った。20年オーストリア政府から宮廷歌手の称号を授与された。

こちらもおススメ!

ヴィンセント・ヴォルフシュタイナー が出演 The 20 th Anniversary ワーグナー『ニーベルングの指環』ガラ・コンサート 4作品から名場面の数々を「ハルサイ・リング」の記憶が甦る！	4月7日 (日)	オッカ・フォン・デア・ダメラウ 歌曲リサイタル プラームス、ベルク、マラー、ワーグナーの作品から 選曲された聴き逃さないプログラム ソフー・レーノ(ピアノ)	4月15日 (月)
チケット好評発売中 詳細は音楽祭公式サイトへ!			

東京春祭 2024 3月15日(土) - 4月21日(日)
東京・春・音楽祭
 SPRING FESTIVAL IN TOKYO
 春が訪れ桜がひらいて
 音楽が始まる 上野の森に

東京の春の訪れを、音楽を介したお祭りで祝う——
 明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野の杜を舞台に、桜の季節に開催する音楽祭です。20回目の春を迎える2024年も、国内外から一流アーティストが集い、演奏会形式のオペラや室内楽、歌曲リサイタルをはじめ、美術館・博物館でのミュージアム・コンサートなど充実したラインナップでお届けいたします。その他、お子様に楽しんでいただけるプログラムや、上野界限やオフィス街、街角での小さな無料のコンサート「桜の街の音楽会」も予定。心躍る春を様々な音色で彩ります。

公式サイト 

チケットのお申込み

東京・春・音楽祭オンライン・チケットサービス
www.tokyo-harusai.com
 座席選択可 ご利用には登録(無料)が必要です。

バラエティに富んだサービスをご用意しております。
 ※サービスの対象となる公演や座席・枚数は限定されております。

- お買い物カゴ (おまとめ予約)
- トリオ・チケット
- U-25チケット
- 電子チケット (チケットれずQ)
- 公式プログラム付 チケット

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (オペレーター)
 チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/harusai/>
 都響WEBチケット <https://www.tmsso.or.jp/>
 都響ガイド 0570-056-057 (月・金:10:00~18:00 土・日・祝日:休)

お問合せ 東京・春・音楽祭サポートデスク 050-3496-0202
 営業時間:月曜、水曜、金曜、チケット発売日 10:00~15:00
 音楽祭開催期間中は土・日・祝日も含め全日営業(10:00~19:00)

※公演に関するお問合せにお答えいたします。※オンライン・チケットサービスのご利用について、ご案内いたします。※サポートデスクではチケットのご予約は承りません。※車椅子席をご利用の方、企業・学校団体での鑑賞をご希望の方は03-5205-6443(東京・春・音楽祭実行委員会事務局)までお問合せください。

●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●掲載の内容は2024年1月17日現在の情報です。●記載しているチケット料金はすべて消費税込みの金額です。●公演中止の場合を除き、出演者・曲目変更による払戻しは致しませんので、あらかじめご了承ください。●チケット代金のお支払い後、お客様のご事情による変更・キャンセルは承りません。●営利目的のチケットの転売はいかなる場合でも固くお断りします。正規の方法以外でご購入いただいたチケットのトラブルに関して、当実行委員会はいかなる責任も負いません。

各サービスの詳細やチケットの申込みはこちらから 